

知って安心

あなたのくすりと健康

聞いて安心

第88号

- 『OTC医薬品』をご存知ですか?…IMS(イムス)グループ 横浜新都市脳神経外科病 澤木 奈実子
- 脂質異常症における脂質管理について…相模台病院 薬剤部 八城 学
- お子さまと薬…横須賀共済病院 薬剤科 土井 路子



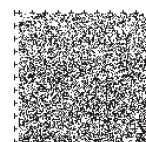
お薬に関する正しい知識の普及・啓発活動に取り組んでいます。

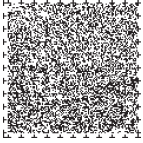


<表紙写真> くすり Get the Answers かながわ 推進委員会 出張くすり相談

お口と体の健康をテーマに開催された「歯の健康クラブ」の講演会に出張して、くすり相談を行いました。

一般の方だけではなく、医療関係者からも薬の服用時間や調剤方法についての相談を受けました。今後も色々なイベントに出向いて、県民の健康増進や、お薬に関する正しい知識の普及・啓発に少しでも貢献していきたいと考えております。





『OTC医薬品』をご存知ですか？

『医療用医薬品』は処方箋が必要な薬です。医療機関を受診し、医師等から処方箋を発行してもらい、処方箋に沿った薬を薬剤師に調剤してもらう必要があります。

医療用医薬品以外で、薬局やドラッグストアなどで処方箋なしに買うことができる薬に『一般用医薬品』『要指導医薬品』があります。これらを総称して『OTC 医薬品』と呼びます。

OTC とは Over The Counter の略で、カウンター越しに^{対面}販売で購入できるという意味です。これまで『大衆薬』や『市販薬』とも呼ばれてきました。

OTC 薬には様々な種類がありますが、成分や含有量により、どのようにして購入できるかが異なります。

OTC 医薬品は含有する成分などから、更にいくつかに分類されています。

分類		対応する専門家	通信販売
要指導医薬品		薬剤師	×
一般用 医薬品	第1類医薬品		○
	第2類医薬品	薬剤師または 登録販売者	○
	第3類医薬品		○

要指導医薬品…医療用医薬品に準じた医薬品で、リスクの高い劇薬や、医療用から OTC になって間もない医薬品などが該当します。購入を希望する場合には、原則として使用する本人が、薬剤師と対面で確認を行いながら、書面にて当該医薬品に関する説明を受ける必要があります。店舗側で販売の記録を残すこともあります。このため、インターネット等で購入することはできません。

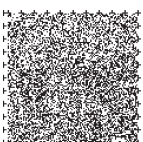
第1類医薬品…副作用、相互作用などの項目で安全性上、特に注意を必要とする医薬品です。購入を希望する場合には、薬剤師から、対面で、書面による説明を受ける必要があります。

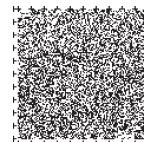
第2類医薬品…副作用・相互作用などの項目で安全性上、注意を必要とする医薬品です。主なかぜ薬や鎮痛剤が含まれます。できるだけ薬剤師や登録販売者からの情報提供を受けてください。

第3類医薬品…上記以外の一般用医薬品です。整腸剤やビタミン剤などが含まれます。

OTC 医薬品は医療機関を受診しなくても購入することが可能なので、軽い身体の不調の際に活用できます。ただし症状を改善する目的の薬が多いため、改善しない場合は医療機関の受診が必要となります。また、OTC 医薬品の場合でも、疾患やアレルギー、他の薬との飲み合わせには注意が必要です。購入の前には、薬剤師に相談してください。

IMS(イムス)グループ 横浜新都市脳神経外科病院
澤木 奈実子





脂質異常症における脂質管理について

脂質異常症とは、血液中にふくまれるコレステロールや中性脂肪などの脂質が、一定の基準よりも多い状態のことを言います。以前は、高脂血症とも言われていました。血液中に余分な脂質が多くなると、動脈硬化を起こしやすくなり、心筋梗塞や脳卒中などの危険性が高くなります。日本動脈硬化学会では表の様な管理目標を推奨しております。

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値(mg/dL)			
		LDL-C	Non-LDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後 薬物療法の適用を考慮する	低い危険度	<160	<190	<150	≥40
	中等度の危険度	<140	<170		
	高い危険度	<120	<150		
二次予防 生活習慣の是正とともに薬物療法を考慮する	冠動脈疾患の既往	<100 (<70)*	<130 (<100)*		

※LDL-C：LDL コレステロール、Non-LDL-C：非 LDL コレステロール、TG：中性脂肪、HDL-C：HDL コレステロール
*家族性高コレステロール血症、急性冠症候群の時に考慮する。糖尿病でも他の高リスク病態（非心原性脳梗塞、末梢動脈疾患、慢性腎臓病、メタボリックシンドローム、喫煙）を合併する時はこれに準ずる
※これらの値はあくまでも到達努力目標値であり、一次予防（低・中程度の危険度）においては LDL-C 低下率 20%～30%、二次予防においては LDL-C 低下率 50%以上も目標値となります。

動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 年度版改変

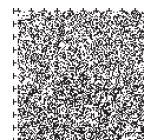
表 危険度別の脂質管理目標値

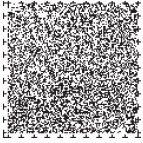
一次予防とは心筋梗塞や狭心症などの動脈硬化性の病気を起こさないための治療を言い、**二次予防**とは動脈硬化性の病気を再発させないための治療を言います。危険度分類については年齢、性別、喫煙歴、血圧、HDL-C、LDL-C、耐糖能異常などによって分類されます。

予想される 10 年間の冠動脈疾患発症リスクは低い危険度群では 2%未満、中等度の危険度群では 2～9%未満、高い危険度群では 9%以上とされています。上記の表の様にコレステロールや中性脂肪などを管理し、心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患を起こさせないようにするために生活習慣の改善や薬物療法による治療が必要になります。

薬物療法にはコレステロールを下げる薬や中性脂肪を下げる薬があり、規則正しく服用することが大切です。また、コレステロールを下げる薬は、重大な副作用として横紋筋融解症が報告されています。一部の雑誌では、副作用が誇張されて報じられておりますが、その頻度は決して多くはなく、副作用の初期症状に気づき、対処すれば問題はないと考えられます。初期症状としては、筋肉痛・褐色尿・倦怠感・CK（クレアチニンホスホキナーゼ）上昇などが言われております。服用時にこのような症状が出てきた場合はすぐ対処が必要ですので、薬が処方されている医療機関や薬剤師にご相談ください。

相模台病院 薬剤部 八城 学





お子さまと薬

お子さまにお薬が出た時、のませるのに苦労して困ったことはありませんか？ここでは、お子さまにお薬（主に粉薬）をあげる方法やコツを紹介します。

I 乳児（生後～満1歳未満）

この時期のお子さまにお薬をあげるには、粉薬であれば少量（1～2ml）の湯冷ましで溶かします。それをスポイトやシリンジに吸い取り、下唇を刺激すると舌を出すので、その上にゆっくり入れてあげます。舌の上に入れることで、むせずにのむことが出来ます。哺乳瓶の乳首の部分だけをくわえさせて、お薬をその中へ入れる方法もあります。

II 幼児・小児（1歳～15歳未満）

少し年齢が上がると、粉薬をそのままのめるようになってきます。粉薬を嫌がるお子さまには、乳児と同じように、少量の湯冷ましで溶かしてストローを使うと、喜んでのむこともあります。個人差はありますが、4歳くらいから錠剤がのめるようになってきますので、本人の受入れによって錠剤に変更できる場合があります。

また、お子さまには治療についてしっかり説明しましょう。内服薬・吸入薬・注射薬など、どのお薬においても、正確な情報を伝えることが重要です。たとえ苦いお薬であっても「苦いけれど元気になるお薬だから、がんばってのもうね」などと真実を説明すると、大人が思う以上によく理解したり、治療に積極的になったりすることがあります。そして、お薬をのむことが出来たら、思いきり褒めてあげましょう。

実際にお薬を取り扱う大人が一番注意したいのは、のみ合わせです。お薬同士や食品など、混ぜたものによって、お薬の味が豹変することがあります。例えば、抗生物質のクラリスロマイシンは、ヨーグルトやポカリスエットなど酸性の食品や、カルボシステインという去痰薬と混ぜると、苦みを隠すためのコーティング剤が剥がれて、とても苦くなってしまいます。お薬を何かに混ぜる前に、問題がないかどうかを薬剤師に確認しておきましょう。最近は、ゼリーオブラートのような、お薬をのみやすくする商品も、薬局やドラッグストアなどで購入出来ます。お子さまが、大切なお薬を嫌いにならないように、いろいろ工夫してみましょう。お薬で困ったこと、わからないことがあれば、薬剤師に相談してみてください。

横須賀共済病院 薬剤科 土井 路子

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス <http://www.kshp.jp/>

お薬電話相談窓口

当会では病院薬剤師がお薬に関する様々なご相談を受け付けています。
(お一人あたり15分程度、無料)

《受付時間》平日の10時～16時(12時～13時除く)

- ・薬の副作用や飲み合わせが気になる方
- ・薬の効能・効果を再確認したい方

お問い合わせ：神奈川県病院薬剤師会 ☎045(761)3345

